

授業科目名	内科学(小児科学を含む)		授業形態	講義	配当学期	1年(前期)
担当教員名	仲山 晃生		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 観血的処置を用いずに診断・治療を行う領域・臓器別細分化にとらわれず、内臓の疾患を全人的に把握する。 また、小児分野については成人とは異なる特有の生理をはじめ発達や病的状態の理解を目指す。</p> <p>〔学習目標〕 リハビリテーションの実施に際し、安全に治療を進めるために必要な内科的疾患や内科学的情報について、知識を得、理解する。</p>					
授業回数	授業内容					
第1回	内科診断学総論 内科的診断の意義と目的、診察法、検査の実施方法及び検査値について。					
第2回	内科治療学総論 薬物療法の基本について。					
第3回	循環器疾患 循環器の解剖と生理について。樹幹器疾患の概念、病理、症状などについて。					
第4回	呼吸器疾患 呼吸器の解剖と生理について。呼吸機能の測定法、基準値。呼吸器疾患の概念、病理、症状などについて。					
第5回	アレルギー・免疫疾患・膠原病 免疫系の働きについて。アレルギー反応と関連疾患について。関節リウマチなどの膠原病の症状などについて。					
第6回	血液疾患 血液の生理、造血について。主な血液疾患の症状、病態について。					
第7回	消化器疾患 消化管の解剖と生理について。消化管疾患の概念、症状などについて。					
第8回	腎臓疾患 腎臓の解剖と生理について。腎機能障害によって起こる症状。代表的な腎疾患、泌尿器疾患について。					
第9回	内分泌・代謝疾患、感染症・老年医学 糖尿病などの代謝性疾患や代表的な内分泌疾患などについて。					
第10回	小児の発達と成長 発達と成長の概念。小児保健について。					
第11回	胎児医学と出生前医学 遺伝性疾患の分類と頻度。主な染色体異常症、先天奇形について。					
第12回	周産期医学 ハイリスク新生児、低出生体重児、早産児。新生児仮死、新生児感染症などについて。					
第13回	小児神経疾患、精神疾患 神経皮膚症候群、中枢神経系の疾患、けいれん疾患など。					
第14回	小児の神経筋疾患 フロッピーインファント、筋ジストロフィーなどについて。					
第15回	脳性麻痺、発達障害、感染症 学校感染症、予防接種、脳性麻痺の定義などについて。					
評価方法	定期テストで評価します。(100%)					
教科書 参考図書	〔教科書〕 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第4版(医学書院) 言語聴覚士のための基礎知識 小児科学・発達障害学 第3版(医学書院)					
履修上の 留意点						
メッセージ	とても範囲が広範にわたるため細かな点は各自教科書等で確認しておいてください。					